

北・東富士全域を使用した訓練検閲

4個部隊の教育訓練の成果を評価

頭号師団



発行元
第1師団司令部
総務課広報班

第1師団
ホームページ
QRコード



師団長要望事項

楽しく全力を出そう！
喜んで全力を出させよう！



統裁官の訓示を受ける受閲部隊



受閲部隊の隊員



第1戦車大隊長 徳永2佐



第1普通科連隊長 小倉1佐



勝鬨をあげる隊員



第1偵察隊長 中富2佐



第1施設大隊長 入江2佐

首都直下地震を想定 防災関係機関と連携強化



東京都職員（下）と調整する
現地調整所要員

また、司令部作戦室では、全国から首都圏に集中する各師・旅団に対する情報提供や引き継ぎ、一刻一刻と変化する被災状況に応じた部隊運用等、本訓練を通じて首都直下地震対処計画の実効性について検証した。

本訓練では首都直下地震が発生した場合の師団の指揮・幕僚活動及び関係機関との連携について演練し、災害対処能力の維持・向上を図った。

師団司令部は発災後、直ちにL O（連絡幹部）を総監部へ派遣して連携を図るとともに、東京都庁に現地調整所要員を派遣して調整所を開設し、自衛隊と行政機関等との連絡調整態勢を確立した。



掩蓋掩蔽された師団指揮所



1施大が構築した指揮所用軽掩蓋掩蔽で
執務をする師団長

第1師団は5月24日から6月2日までの間、8夜9日の連続状況下で、北富士演習場から東富士演習場の全域を使用して、第1普通科連隊、第1戦車大隊、第1施設大隊及び第1偵察隊の訓練検閲を実施した。

本訓練検閲は徒歩行進に引き続き陣地防御を検閲課題として行い、1普通科連隊は、師団の先遣戦闘団として、1戦大は師団の

先遣戦闘団に配属された戦車大隊として、1施大は師団の施設大隊として、1偵は師団の偵察隊としての行動を主要検閲項目とし、師団主力の決戦に寄与するための作戦を焦点として各種行動を検した。

訓練検閲実施にあたり統裁官（師団長）は「総合戦闘力最大限発揮のため脳漿を絞り、そして実行せよ」を要望した。

関連②③④面

第 1 次訓練検閲を実施 第 1 後方支援連隊



1 戦大に同行する 7 8 式戦車回収車

第 1 後方支援連隊は、5 月 23 日から 6 月 2 日までの間、第 1 次師団訓練検閲の場を活用し、第 2 整備大隊戦車直接支援隊及び偵察直接支援小隊に対し訓練検閲を実施し、野整備直接支援部隊の行動を評価して教育訓練の進歩・向上を図った。



車両を直接警戒する
偵察直接支援小隊

第 1 中隊訓練検閲を実施 第 1 特科隊



射撃を実施する隊員

第 1 特科隊は、5 月 25 日から 6 月 1 日までの間、東富士演習場において、第 1 次師団訓練検閲の場を活用し、第 1 中隊に対して訓練検閲を実施した。



HMG により対空戦闘する隊員

本訓練検閲は、陣地防御における第 1 戦闘団に配属された特科中隊の行動を検閲課題とし、中隊の訓練成果を評価し、教育訓練の進歩・向上を図った。



前方地域（北富士）で戦闘する 1 中



徒歩行進する隊員



連隊 OP で状況を確認する連隊本部

第 2 中隊、第 3 中隊及び第 4 中隊は、第一線主戦闘地域において、第五中隊は第二線主戦闘地域において防御戦闘を実施し、前方地域から後退した第 1 中隊は、後方地域において防御戦闘を行い、敵機械化部隊の攻撃を 6 月 1 日昼まで阻止して状況を終了した。



第一線主戦闘地域で防御する 3 中

訓練検閲を受閲した。連隊は約 40 キロの徒歩行進に引き続き、北富士演習場高丸尾地区から東富士演習場 23 号測点、畑岡地区にわたる間を前方地域とし、大野地区を主戦闘地域として約 4 日間の防御準備を実施した。



ヘリからのリペリングを演練



ヘリからのドアガン射撃



オートバイの搭載要領を演練

第 32 普通科連隊は 5 月 25 日から 27 日の間、立川駐屯地及び富士地区において、情報小隊及び狙撃班（各中隊から編成）の航空科部隊との協同作戦能力の向上を図ることを目的として、東部方面航空隊及び第 1 飛行隊が実施した令和 3 年度第 1 回航空科合同訓練に参加した。

令和 3 年度富士総合火力演習に参加 第 34 普通科連隊



1 2 0 迫撃砲の射撃



弾薬を装填する隊員

今年度も昨年同様ライブ配信かつ無観客の中で行われたが、中隊は本演習の整齊円滑な実施に寄与するとともに、射撃練度の更なる向上を図ることができた。

第 34 普通科連隊重迫撃砲中隊は 5 月 22 日、東富士演習場において実施された令和 3 年度富士総合火力演習に参加した。



徒歩行進する隊員

第1次師団訓練検閲を受閲 第1施設大隊



地雷を埋設して道路閉塞する隊員



70式機動支援橋の架設

第1施設大隊は5月24日から6月2日までの間、東・北富士演習場で実施された第1次師団訓練検閲を受閲した。大隊は約30キロの徒歩行進に引き続き、戦闘団の前方地域での偵察警戒の迂回処置として、07式機動支援橋を架設して部隊の行動を容易にした。その他、師団指揮所及び戦闘団指揮所の掩蓋掩壕を構築し、師団の作戦に寄与して任務を完遂した。



徒歩行進する隊員

第1次師団訓練検閲を受閲 第1戦車大隊



北富士より後退する2中



陣内戦闘する1中

第1戦車大隊は5月24日から6月2日までの間、東・北富士演習場で実施された第1次師団訓練検閲を受閲した。大隊は約30キロの徒歩行進に引き続き、戦闘団の偵察警戒部隊として北富士から竜ヶ馬場を越え、東富士にわたる前方地域において遅滞戦闘を実施した。戦闘間、中ノ茶屋付近において敵のヘリボン攻撃をうけるも、敵戦車14両に損耗を与えた。また、第一線陣地に対する逆襲により、主戦闘地域の戦闘に大きく寄与し、今年度末に予定する改編前最後の検閲において、見事にその任務を完遂した。

第2回大隊訓練を実施

第1通信大隊



有線構成する隊員



ネットワークカメラによる監視を行う隊員

第1通信大隊は、5月24日から6月2日までの間、東・北富士演習場で実施された第1次師団訓練検閲の場において、第2回大隊訓練を実施した。大隊は、統裁通信隊として統裁のための通信を確保するとともに、演習第1通信大隊として第1戦闘団への同行通信班を派遣する等、師団と第1戦闘団等とのシステム通信を確保した。また、北富士演習場において、通信所開設のための偵察・進入、通信所開設、ネットワークカメラによる警戒・自衛戦闘の検証等を実施し、所望の成果を得て本訓練を終了した。



目標（実機）に狙いを定める携帯SAM



目標（実機）に狙いを定める短SAM（目視追従）

対空情報戦闘訓練に参加 第1高射特科大隊

第1高射特科大隊は5月24日から27日までの間、百里基地及び駒門駐屯地において、第2高射特科群が担任する方面対空情報戦闘訓練に参加した。

本訓練では各高射火器と対空レーダーを空自百里基地に展開し、敵機に見立てた空自F-2が地上攻撃で飛来する状況の中、関係高射特科部隊との協同による組織的な対空情報活動について演練した。また、師団対空警告・警戒の送受信に併せた師団隷下各部隊による対空目標情報の獲得要領について演練し、師団の対空作戦能力の向上に寄与した。

第1次師団訓練検閲を受閲

第1偵察隊

第1偵察隊は5月24日から6月2日までの間、東・北富士演習場で実施された第1次師団訓練検閲を受閲した。

成し、部隊の進出状況及び攻撃要領を解明して師団の作戦に寄与し、今年度末に予定する改編前最後の検閲において、見事にその任務を完遂した。



徒歩行進する1偵



警戒監視中の隊員



松本地区に展開する電子偵察小隊

第3回飛行隊訓練を実施

第1飛行隊

第1飛行隊は5月24日から6月3日までの間、北富士演習場において、東部方面航空隊UH-1J3機、東部方面航空隊管制氣象隊3名の支援を受け、第3回飛行隊訓練を実施した。



空中機動訓練



特殊操作訓練



方面対空情報訓練に臨む隊員

本訓練において、航空科職種合同訓練として方面航空隊と連携した空中機動訓練、対抗部隊としての飛行任務、自隊訓練としての夜間飛行訓練の三つを重視して実施した。また、対抗部隊としての任務のうち、ヘリボン作戦(MSR破壊)については、師団訓練検閲状況終了後に1飛として状況を継続し、第4対戦車ヘリコプター隊のAH-1Sと協同して実動訓練として実施した。

本訓練を通じ、職種内外との協同連携した任務遂行のための能力及び夜間任務遂行のための能力の向上を図ることが出来た。

第2回隊練成訓練を実施

第1特殊武器防護隊

第1特殊武器防護隊は5月28日から6月3日の間、練馬駐屯地及び北富士演習場において、第2回隊練成訓練を実施した。この際、除染小隊訓練を併せて行った。

本訓練検閲は、除染小隊の攻撃における行動を検閲課題として、訓練成果を評価するとともに進歩向上を図った。



除染所の開設を準備する隊員



車両を除染する隊員

自衛官候補生課程入隊式における音楽演奏

第1音楽隊

第1音楽隊は4月10日、練馬駐屯地体育館において実施された令和3年度自衛官候補生課程入隊式(第1普通科連隊)において音楽演奏を実施した。

隊は、演奏を通じて隊員の士気の高揚及び隊員家族の自衛隊に対する信頼感の醸成に資するとともに、円滑な行事の実施に寄与した。



入隊式に伴う音楽演奏



師団訓練検閲を統裁・管理支援 第1師団司令部付隊

第1師団司令部付隊は5月24日から6月2日までの間、東富士演習場及び北富士演習場において、師団が実施した訓練検閲に司令部勤務班及び隊本部の要員114名をもって参加して、整齊・円滑な検閲統裁に寄与した。



炊事を実施する隊員(美味しいコロッケでした)



隊員を激励・指導する付隊長(写真中央)

令和2年度師団優秀隊員を表彰



表彰状授与式の様子

第1師団司令部付隊	関根1曹
第1特殊武器防護隊	佐藤1曹
第1偵察隊	大島1曹
第1施設大隊	高橋2曹
第1戦車大隊	金丸1曹
第1特科隊	小林1曹
第1後方支援連隊	木須2曹
第34普通科連隊	福田2曹
第32普通科連隊	木村曹長
第1普通科連隊	上田2曹

第1師団は3月20日、令和2年度師団優秀隊員招待行事を実施した。本行事は職務遂行、教育訓練等に特に活躍し、謝の意を表すことを目的とし、優秀隊員及びその家族を招待して師団長から表彰状の授与、記念撮影を行った。

師団長から表彰を受けた32普通連(上)と第1音楽隊(下)



師団は4月19日(練馬駐屯地)及び22日(大宮駐屯地)、令和2年度隊務優秀部隊表彰を実施した。

本表彰は、部隊の士気高揚に資することを目的とし、年度を通じて各部隊の「訓練等」「勤務等」「検査」の3分野を総合評価するもので、今回は第32普通科連隊と第1音楽隊が隊務優秀部隊となった。

令和2年度隊務優秀部隊 32普通連・1音を表彰

師団広報写真展示会で表彰

最優秀賞は 1普通連池田3曹

師団は3月9日、練馬駐屯地において令和2年度師団広報写真展示会の表彰式を実施した。

本展示会は師団隷下部隊の広報写真を評価し、撮影技術の向上と隊員の士気の高揚を図ることを目的とし、審査について

は部外カメラマン2人、師団懇話会 市川会長、師団長、副師団長、幕僚長及び師団最先任上級曹長の7人が行った。結果、第1普通科連隊(現東京地方協力本部)池田3曹が新隊員教育において体を構築する新隊員の姿を撮影した作品が最優秀賞に選ばれた。審査した部外カメラマンからは「今年も1師団の写真は良い作品が多かったです。カメラマンの気持ちが強く伝わってきます」とのコメントがあった。



最優秀賞 題「豪快」

業務改善提案4級表彰

方面総監賞



第1師団司令部付隊 2等陸曹 金子 恵理



第1師団司令部付隊 3等陸曹 角田 圭

奨励賞 受賞

第223期陸曹上級課程 第34普通科連隊 1等陸曹 佐々木 聡

第138期陸曹候補生課程 第34普通科連隊 陸士長 渡来 彩樹

第98期陸曹候補生課程 第1施設大隊 陸士長 岡本 明日香

受賞おめでとうございます



観閲式にて運行する 車両小隊



敵情を処理する 情報処理システム班



統裁部の食事を作る 管理小隊



行進訓練する 司令部勤務班



第1師団司令部付隊



先任上級曹長 准陸尉 五島 聡

第一師団司令部付隊先任上級曹長の五島准尉です。

一師付は、師団司令部機能の屋台骨を支える部隊として、常時即動し得る態勢を保持しつつ、司令部のために管理、補給整備、輸送業務等、任務完遂を目標として、部隊・隊員の練成に励んでいます。編成は隊本部・司令部勤務班・管理小隊・車両小隊・情報処理システム班から成り、それぞれの部署が密接に連携し、直接司令部機能を支えているため、隊員個々においても規律厳正かつ規範でなければならないと考えています。緊張感を維持した勤務環境において、自らを律し任務を遂行するにあたり、自分が大切だと思ふことを三つ紹介します。

一つ目は「変化に対応すること」です。隊務運営にあたっては計画が前提ですが、計画は変わるものです。例えば敵に遭遇した場合、敵が我の予測したとおりの行動をするとは限りません。敵の状況に応じて計画を変更・修正しなければ戦いには勝てないのと同じで、変化した事象にスピード感と柔軟性を持って対応していくことが大切です。この際、枝葉末節に捉われて安易な判断をしないよう、変化した経緯や理由などを十分に考察し、本質を見極めて行動することです。

二つ目は「効率性を考えること」です。業務を効率化するには、時間の有効活用と無駄を省くことが考えられます。最近では必要最低限な暮らしをするミニマリストという人が増えているようですが、効率的な業務をする上で、省いて良いものかそうでないものがあります。省くものは一概には言えませんが、省いてはいけないものは「仕事に着手する前によく考える」「関係する人と適切なコミュニケーションをとる」「手抜きをしない」です。これらを実践することにより、ミスや二度手間が減り、効率よく業務ができるようになります。複雑になりがちな業務では、思い悩んで時間を使うより、目的を明確化して取捨選択し、自分のベスト・パフォーマンスを発揮した方がよいということです。

三つ目は「笑うこと」です。第一師団の皆さんなら一度は「笑う犬」の写真を見たことがあるでしょう。私はあの写真を見る度にほっこりした気持ちになります。職場においても笑いは必要です。笑いがない職場は思い遣りや周囲への気遣いがなくとも捉えられます。我々は戦士として緊張感を保つことは必要ですが、常に難しい顔をしている必要はありません。最近では、マスクによりコミュニケーションまで半分になってしまったと言われていますが、こんな時こそ自ら笑って「笑顔」を伝染させることです。簡単なことですよ。犬も笑えるんですから。そうしたらきっと、いろんなことがうまくいくと思います。

冒頭にお伝えしたとおり、複雑多岐に渡る業務を確実に実施して継続的な信用を得るには、横の連携を密にし、信頼関係と団結を強化することが重要だと認識しています。改めて先任上級曹長の職を命ぜられていく重責を深く肝に銘じ、誇りと謙虚さを持って准曹をけん引して、引き続き全力で任務に邁進する所存です。

退官者紹介

第1普通科連隊

本部管理中隊



3等陸尉 鳥首 義隆



准陸尉 春日 隆二



准陸尉 櫻井 卓郎



准陸尉 小笠原 弥



陸曹長 宮下 亨

第34普通科連隊

第1中隊



准陸尉 山崎 一博

第1後方支援連隊

第2整備大隊



陸曹長 松尾 雅徳

第32普通科連隊

本部管理中隊



陸曹長 宮田 好郎



陸曹長 上野 真一



陸曹長 原口 正雄



准陸尉 山本 靖彦



陸曹長 加藤 嘉勝

第1特科隊

本部管理中隊



准陸尉 大根田 成史



1等陸曹 鈴木 一弘

隊員家族紹介

6歳と3歳の息子から父へ

第34普通科連隊本部管理中隊

齋藤 2曹 長男・次男



いつもお仕事をがんばってくれてありがとう。
やっちゃんも小学校にいったお友達と一緒に元気にがんばってるよ。
お休みの日は、いっぱい遊んでくれてありがとう。自転車乗れてとても楽しかったよ。今度、また温泉にもつれて行ってね。自転車乗れてとても楽しかったよ。今度、また温泉にもつれて行ってね。
お仕事、気を付けてがんばってね。
ひさは、せんにゃに乗りたい！



次男の誕生日にて大好きなパパと記念写真

新着任部隊長紹介

第1戦車大隊長

2等陸佐

徳永 真司



第1通信大隊長

2等陸佐

薬師神 隆文



新婚・トライアングル生活の決意

第1施設大隊第2中隊

木村曹長 妻



私達は、お互いが幼い頃から活動してきたボーイスカウトで出会い、お付き合い3年目に結婚致しました。部隊の方々からの「仕事柄、不安や心配をかけてしまうこともあると思うが、理解してほしい。」という言葉で、私自身も理解を深めようと予備自衛官補訓練への参加を決めました。兄が自衛官ということもあり、自衛隊のことを分かっているつもりでした。しかし実際に訓練をやってみると、彼の努力や仕事の重大さ等、身をもって実感でき、改めて主人のことを尊敬しました。これから主人の半年間の教育入校が決まっているため、彼は福岡、住まいは埼玉県朝霞市、私の勤務先が千葉県成田市という遠距離トライアングル生活になります。新婚早々に正念場を迎えますが、離れているからこそ「ホウ・レン・ソウ」と二人三脚で支え合い、さらに強い絆を持った夫婦になりたいです。帰ってきた際には、栄養満点の食事と明るい笑顔で迎え、家族としてどんなときでも「あなたの一番の味方」でいる決意です。



結婚式場にてロケーション撮影

自衛官と妻の二刀流

第1施設大隊本部管理中隊

鈴木 3曹 (妻)

夫とは第106期衛生資料課程に教育入校した際に出会い、一目惚れをし、遠距離恋愛を経て結婚致しました。



教育修了を記念して撮影

隊員自主募集ご協力をお願い

一般曹候補生・自衛官候補生の応募資格が改正！

18歳以上33未満の男女

自分たちの「同僚・後輩は白らの手で」

悩み相談 0120-1848-38
心理相談 (第1師団心理幹部) 8-31-2215
法律相談 (第1師団法務官) 8-31-2266
倫理相談 (第1師団法務官) 8-31-2265
「うつ」隊員等のサポート 0120-834-939



【お知らせ】
開館時間は平日の9時から15時までです。
お申し込みは1週間前までにご連絡下さい。